

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月7日

上場会社名 東京貴宝株式会社
 コード番号 7597 URL <http://www.tokyokih.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 千秋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 政木 喜仁

TEL 03-3834-6261

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,809	1.6	15	162.0	27	16.2	15	38.9
29年3月期第3四半期	3,869		6		32		25	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	34.58	
29年3月期第3四半期	56.62	

1. 当社の平成28年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成29年3月期第1四半期より非連結となりましたので、平成29年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,079	3,280	46.3
29年3月期	6,822	3,273	48.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,280百万円 29年3月期 3,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		4.00	8.00
30年3月期		4.00			
30年3月期(予想)				40.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「 」と記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,018	2.8	65	14.7	82	9.6	61	25.0	139.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	447,856 株	29年3月期	447,856 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	5,671 株	29年3月期	5,648 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	442,206 株	29年3月期3Q	442,220 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第58回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金期末 4円00銭

2. 平成30年3月期の通期の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 13円97銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はジュエリー総合商社として単一の事業分野で営業活動を行っており、社内におけるマネジメントにおいても全体を一つの事業としております。従いまして、当該事業以外に事業の種類がないため、セグメント別の記載を省略しております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善し景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、中東や東アジア地域における政情不安による、地政学リスクの高まりなどにより依然として先行き不透明な状況となっております。

当社が所属する宝飾業界においては、依然として節約志向の高まりから、ジュエリーに対する消費マインドの改善は実感できず、厳しい状況です。

このような状況にあって、当社は従来通り僱事関係を営業活動の中心にすえて取引先とともに集客増加を図り、販売促進活動を積極的に取り組んで参りました。

売上高は既存大型僱事が堅調に推移したものの全体的には伸び悩み、前年同四半期より減少となりましたが、営業利益につきましては、展示会費用等の販売促進費の削減により、前年同四半期を上回ることが出来ました。

経常利益、四半期純利益につきましては、資金繰りの改善及び金利引き下げにより支払利息を削減出来ましたが、自社ビルの改修工事に伴う不動産賃貸原価の増加及び固定資産除却損の発生により、前年同四半期を下回ることとなりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,809百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益は15百万円(前年同四半期比162.0%増)、経常利益は27百万円(前年同四半期比16.2%減)、四半期純利益は15百万円(前年同四半期比38.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ257百万円増の7,079百万円となりました。主な変動は、商品の増加120百万円、受取手形及び売掛金の増加69百万円等であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ250百万円増の3,799百万円となりました。主な変動は、支払手形及び買掛金の増加104百万円、長期借入金の増加80百万円、社債の増加60百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ7百万円増の3,280百万円となりました。主な変動は、その他有価証券評価差額金の増加27百万円、繰越利益剰余金の減少20百万円等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月8日に公表いたしました通期の業績予想に関しましては、現時点において変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	523,311	503,172
受取手形及び売掛金	1,315,825	1,385,425
商品	2,888,126	3,009,003
その他	119,311	132,606
貸倒引当金	△55,727	△52,183
流動資産合計	4,790,846	4,978,025
固定資産		
有形固定資産	381,250	386,266
無形固定資産	1,915	6,172
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	1,498,736	1,523,699
その他	189,549	225,263
貸倒引当金	△39,905	△39,904
投資その他の資産合計	1,648,379	1,709,059
固定資産合計	2,031,546	2,101,498
資産合計	6,822,392	7,079,523
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,495	322,417
短期借入金	1,828,418	1,839,401
未払法人税等	8,713	1,047
返品調整引当金	2,186	1,944
その他	193,176	180,630
流動負債合計	2,249,989	2,345,440
固定負債		
社債	90,000	150,000
長期借入金	996,850	1,077,567
退職給付引当金	66,449	68,749
その他	146,048	157,601
固定負債合計	1,299,347	1,453,918
負債合計	3,549,337	3,799,358

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	636,606	636,606
資本剰余金	504,033	504,033
利益剰余金	2,145,252	2,125,166
自己株式	△27,660	△27,726
株主資本合計	3,258,231	3,238,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,824	42,085
評価・換算差額等合計	14,824	42,085
純資産合計	3,273,055	3,280,165
負債純資産合計	6,822,392	7,079,523

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,869,478	3,809,488
売上原価	2,766,643	2,714,386
売上総利益	1,102,835	1,095,101
返品調整引当金戻入額	1,894	2,186
返品調整引当金繰入額	2,099	1,944
差引売上総利益	1,102,630	1,095,343
販売費及び一般管理費		
販売促進費	383,616	363,857
旅費及び交通費	122,502	124,083
役員報酬	45,538	51,979
従業員給料	274,444	271,576
法定福利費	52,752	51,677
退職給付費用	10,413	8,641
貸倒引当金繰入額	2,355	534
その他	204,936	207,092
販売費及び一般管理費合計	1,096,560	1,079,441
営業利益	6,069	15,902
営業外収益		
受取利息	726	67
受取配当金	2,806	3,064
投資不動産賃貸料	119,701	116,937
その他	1,652	3,385
営業外収益合計	124,886	123,455
営業外費用		
支払利息	33,075	22,953
コミットメントフィー	6,199	6,349
不動産賃貸原価	48,713	81,026
貸倒引当金繰入額	4,595	△4,080
その他	6,156	6,097
営業外費用合計	98,740	112,346
経常利益	32,215	27,011
特別損失		
固定資産除却損	-	5,587
特別損失合計	-	5,587
税引前四半期純利益	32,215	21,423
法人税等	7,174	6,133
四半期純利益	25,040	15,290

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はジュエリー総合商社として単一の事業分野で営業活動を行っており、また、社内におけるマネジメントにおいても全体を一つの事業としております。従いまして、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。